宮城民医労ニュース

発行:宮城民主医療機関労働組合 TEL 022(232)0991 FAX022(232)0992 2023, 03, 15 No. 442

期間限定の組合選減額に出合選減額を担合選減です。

物価高!原油高!電気代高!の3重苦に少しでも役に立ちたい!

この間、宮城民医労はコロナ禍で頑張った組合員に対しての給与、一時金、処遇などの改善を要求してきました。しかし、昨今の診療報酬、介護報酬の改悪、ロシアウクラアイナ戦争などによる物価高、原油高、電気料金の値上げ等によりどの事業所も経営は芳しくありません。

それに伴い私たちの生活も苦しくなる一方です。現在、宮城民医労では全組合員が 1 週間のストライキを行えることを前提とした定期預金を積み立てています。この苦しい生活状況下で奮闘し働いている組合員に対し、最低限のストが行える資金を残し、定期預金及び繰越金を半分程度活用させていただきます。

活用方法の提案は以下の通りです。

- ●全組合員(約 1700 名)の組合費を 2023 年度末まで、 現組合費より 2,000 円減額 します。
- ●パート組合員は同期間 700 円の組合費とします。



※最終決定は 4/13 に分会支部代表者会議を招集し確認します。 みなさんのご意見を分会執行委員や代表者、本部までお寄せください。

月々2,000 円の減額ではありますが多少お役に立てる額になると思います。その期間、私たち労組も活動資金が減りますが、引き続き診療報酬、介護報酬改悪反対、全ての戦争、侵略行為への反対、私たち労働者の賃金、処遇の改善への活動に力を注いでいく所存です!

これからも労働組合への様々な活動へ参加、よろしくお願いします!